

## 財団研究委員による 小学校の鑑賞教育を考える・実践編 1-3

## 高学年の指導(6年生)

## トルコの音楽に親しもう——「トルコの軍楽隊の音楽」

東京都世田谷区立松沢小学校教諭 大湊 勝弘

過日、「ジェゴグ(竹のガムラン)」で有名なバリ島の「スアール・アゲン」のコンサートを鑑賞しました(7月31日、すみだトリフォニーホール)。楽曲構成やステージ演出の巧みさ、そして何よりも竹が創り出す大地を揺るがすような響きと、民族的な音楽の価値の素晴らしさに魅了されました。アジアの諸民族の音楽が浸透していることを実感しました。

さて、小学校の学習指導要領には、世界の様々な音楽について、広く学習することが示されています。本稿では、諸外国の音楽から、西アジアのトルコで伝統的に伝えられている“軍楽隊の音楽”、メヘテルによる『ジェッディン・デデン』を取り上げ、その楽曲と教材性、また学習の流れについて、述べていきたいと思っています。

## 1、軍楽隊と楽器編成

このメヘテルというのは、イエニチェリ(特別に教育された優秀な青年で構成されたオスマン帝国の歩兵軍団)に同行する楽隊のことをいいます。軍楽隊は、以下の5種の楽器と、鈴のついた「チュブゲン」という棒で拍子を取りながら歌う歌い手とで構成されます。

両面太鼓の「ダウル」、オーボエ系の大型「ズルナ」、2個の鍋型小太鼓の「ナッカーラ」、簡易トランペットの「ボル」、シンバルの「ズィル」。演奏によっ

ては、これに1対の鍋型の太太鼓「キョス」も含まれます。

## 2、楽曲について

『ジェッディン・デデン』は、日本でもTVの主題曲(NHKの『阿修羅のごとく』)としても取り上げられ、耳にしている人も多いかと思います。演奏は、和音を含まない単旋律(ボルとズルナによるユニゾン)と簡潔な行進曲のリズム(打楽器群)からなっており、比較的理解しやすいものです。また、映像の視聴により、演奏しながら歩く様子やトルコの軍楽隊の雰囲気を感じ取ることができるので、ぜひ活用して下さい。曲の中で歌われている歌詞は、次の通りです。

- (1)祖先も祖父も父も子も 皆 勇敢な我が民族  
その陸軍は長きに渡り 世界の栄光を受け継ぐ
- (2)我が民族 我が民族 愛する我が民族  
祖国を抑圧する敵の その屈辱を取り除け

## 3、学習の流れ

＜題材とねらい＞トルコの音楽に親しもう——「トルコの軍楽隊の音楽」

- ・音楽を聴いたり演奏したりして、トルコの軍楽隊の音楽のよさを味わう。
- ・いろいろな楽器の旋律や音色、打楽器のリズムなど、トルコの楽器の奏法や特徴を感じ取る。

## ＜活動の流れ＞

この学習では、鑑賞と表現を関連づけた活動を中心とします。諸外国に伝わる音楽の鑑賞は、視聴することに加え、楽曲を歌ったり演奏したりすることによ

て音楽の世界を広げたり一層親しんだりすることができます（例、「ケチャ」「アリラン」「トガトン」など）。

展開例はいくつか考えられますが、一例を挙げてみます。

| 学習の流れ              | 留意点                                                                     |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------|
| 演奏を聴く              | ○音楽の特徴を感じ取る。                                                            |
| 演奏を視聴する            | ○感じ取った様子、特徴などはどんな楽器で演奏していたか、確かめる。                                       |
| 旋律を楽器で演奏する         | ・旋律を口ずさんで覚える。【楽譜は別掲1】<br>・リコーダーなどで、ゆっくり吹き、旋律を感じ取る。                      |
| パートを分けて演奏する        | ○打楽器のリズムを手で打ったり楽器で打ったりする。<br>・旋律のパートやリズムのパート【楽譜は別掲2】に分かれて練習したり、合わせたりする。 |
| 再度演奏を視聴して曲のよさを感じ取る | ○自分たちの演奏を聴き比べたり、演奏のよさを味わったりする。                                          |

※旋律の原調はもう少し高いのですが、右の楽譜では子どもが演奏しやすい調に変えてあります。

## 4、楽器演奏の試み

授業では、本物の楽器を使うことはできませんので、代用の楽器でどの程度曲の雰囲気を感じ取ることができるか挑戦

してみましょう。

以下のような楽器で代用が可能です。ズイルは、シンバルで代用できます。また、管楽器の導入が可能であれば、ボルはトランペット※で演奏できるとよいですね。（※トランペットがB♭管の場合、1音上げて吹くようにします）

- 旋律：（ズルナ）リコーダー、（ボル）吹ける子どもがいればトランペット  
○リズム：（ダヴル）大太鼓、（ナッカーラ）ボンゴまたは小太鼓など、（ズイル）シンバル

また、合奏ができれば、実際に歩いてみても楽しいですよ！

## 「メヘテルによる『ジェッディン・デデン』」

・掲載教科書：教育芸術社「小学生の音楽6」

・今回のねらい 学習指導要領 第5学年および第6学年の内容

A表現(3)イ「音色の特徴を生かして、旋律楽器及び打楽器を演奏すること。」

B鑑賞(1)ウ「楽器の音色および声の特徴に気をつけて聴くこと。～」

(2)イ「歌曲、室内楽の音楽、箏や尺八を含めた我が国の音楽、諸外国に伝わる音楽など、いろいろな種類の音楽」

## ジェッディン・デデン

トルコの軍楽隊

1.

採譜／大湊 勝弘

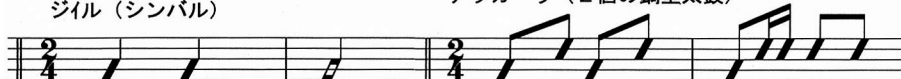
ズルナ（オーボエ系）



2. 打楽器のリズムパターン

ジイル（シンバル）

ナッカーラ（2個の鍋型太鼓）



ダブル（両面太鼓）

